国語科学習指導案

科　目	授業学級	授業場所	使用教科書	授業者
国語総合	１年４組（普通科）39名 （男子18名，女子21名）	１年４組	国語総合 （桐原書店）	朝倉　真吾

１　単元（題材）名

書き手の主張を的確に読み取り自分の考えを深める。
教材：評論Ⅱ　『サイボーグとクローン人間』

２　単元（題材）の目標

ア　論理的な文章の構成や展開を確かめながら書き手の主張を的確に読み取り自分の考えを深めようとしている。（関心・意欲・態度）
イ　論理的な文章の構成や展開を確かめながら書き手の主張を的確に読み取り自分の考えを深めている。（読む能力）
ウ　文や文章の構成，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解し，語彙を豊かにする。（知識・理解）

３　単元（題材）の評価規準

関心・意欲・態度	読む能力	知識・理解
①　文章の構成や展開を確かめ，書き手の意図を的確に捉えようとしている。 ②　書き手の主張に対する自分の考えを，他者との意見交換を通じて深めようとしている。	①　文章の構成や展開を確かめ，書き手の意図を的確に捉えている。 ②　書き手の主張に対する自分の考えを，他者との意見交換を通じて深めている。	①　文や文章の組み立て，語句の意味，用法及び表記の仕方などを理解している。

４　単元（題材）の指導計画（全７時間）

時	主な学習内容	評価規準
第１時	サイボーグ・クローン人間・ロボットに関するアンケートをとる。 本文の範読 ・全体を範読しながら，語句を確認する。 ・意味段落（第１～４段落）に分け，大意を把握する。	知識・理解① 読む能力①
第２～６時	〈第１段落〉 ・ロボット・サイボーグ・クローン人間の製作上の違いを本文や資料を通して理解し，それぞれの研究の現状を把握する。 ・サイボーグとクローン人間に対する人々の一般的な反応を読み取る。 〈第２段落〉 ・クローン人間は決して非人間的ではないという筆者の主張とその根拠を読み取る。 ・サイボーグが人間の心のあり方にも影響を及ぼしかねないことを読み取る。 〈第３段落〉 ・サイボーグが肯定される理由とその影響について理解する。 〈第４段落〉 ・文明の変化がどのように起こるかを考える。 ・クローン人間の誕生は非人間的ではないと捉え、むしろサイボーグ造りに危惧を抱く筆者の立場に対する賛否を自分なりに理由づけて考えてみる。	関心・意欲・態度① 読む能力①
第７時	グループに分かれ各自の考えを発表し，他者の考えを聞いて自分の考えを深める。	読む能力② 関心・意欲・態度②

５　教材（単元・題材）観（単元概要）

論理的な評論を正しく読解する作業は高校国語の現代文の授業の中心的な要素である。論理をもって説明される筆者の見解を的確に把握するという評論読解の力を身につけさせたい。

本教材は，20 世紀から 21 世紀へと二つの世紀にわたり新聞・雑誌等に発表された文章を収録した評論集『世紀を読む』（平成 13 年・朝日新聞社発行）に収録されたものである。本文では，嫌悪感を示す人が多い「クローン人間」の研究は存外非人間的行為ではないが，肯定的に受け入れられている「サイボーグ」造りは人間の考え方や生き方にも影響を及ぼすという主張がなされている。こうした筆者の一般的な意見を覆す主張は，生徒にとって物事を一つの固定的な立場からではなく，その他の立場から多角的に捉え直す貴重な経験であり，現代的な事象を自らの力で読み解く力を養い自分の考えを深める契機となるであろう。また本文は，筆者により丁寧な論理展開がなされており，評論教材を学習する上で主要な目標となる論理性に着目しつつ文章を読み取る方法を習得するのに適した教材であるといえる。

生徒は「国語総合」の授業において既に一度，評論文を学習している。生徒には今回の教材で以前の学習経験を生かし論理展開を意識し筆者の主張を正確に読み取るとともに，筆者の主張に対して自分の考えを深める経験を積ませたいと考える。

６　生徒観（生徒の実際）

実施学級は普通科で，ほぼ全員が大学や短大等，上級学校への進学希望者である。クラスとしてはノート記入，プリント学習などは概ね意欲的に取り組む。しかし，全体に発問を投げかけると特定の生徒が答えがちで，自主的に発言しようとする者は少ないなど消極的な雰囲気もあり，特に午後の授業では集中力を保ちにくい状況にある。段階的思考を要する言語活動に対しては特に苦手意識をもち，「なぜ」「どのような」という発問では教室が静まりかえる。積極的に考える姿勢は見られるが，それを助ける語彙力が充分ではないため，発言には至っていない者が多い。理由として「答えに自信がないから」「あっているか不安だから」「間違っていたら恥ずかしいから」といったことが消極的な傾向にある原因と思われる。

７　指導観

本題材の指導に当たっては，導入において携帯電話やコンピュータなど情報通信機器を使いこなす現代人とサイボーグの違いは，機械を身体の外部に配置するか内部に組み込むかの違いに過ぎないということを提示することにより，身近な問題であると認識させ興味・関心を喚起する。展開においては，「ロボット」・「サイボーグ」・「クローン人間」の違いについて参考資料を用いて明確に理解させた上で，論理展開を丁寧に追うことにより筆者の主張を正しく把握させる。まとめにおいては，筆者の主張に対する自分の考えをまとめさせ，グループで紹介しあう活動を通して他者の考えに触れ，更に自らの考えを深めさせる。なお，本文は倫理性の高い内容であるため，道徳的な内容に流れてしまわないように注意することが必要である。生徒には自分の考えをまとめる際に，自分の主張の根拠が感情的なものにならないにように注意を喚起したい。

８　本時の実際

（１）　本時の目標

筆者の主張を改めて確認した上で，前時にまとめた自分の意見をグループ内で紹介し合い，他者の意見を聞いて自分の意見を更に深める。

（２）　本時の評価規準

・自分の考えを深めるために，相手の立場や考えを尊重して意見を聞き取ろうとしている。

（関心・意欲・態度②）

・書き手の主張を正確に理解し，主張に対する自分の考えを他者との意見交換を通じて深めている。

（読む能力②）

（３）　本時（第７時）の展開

過程	時間	学　習　活　動	指導上の留意点	評価方法
導入	5	・挨拶 ・前時の学習内容を振り返る。 ・本時の学習内容と学習課題を確認する。	・前時に記入したワークシートを配布し，前時の学習内容を確認する。	行動の観察
		本時の学習課題 「筆者の考えに対する各自の考えを聞き，自分の考えを深める」		
展開		【展開①】		
	2	・発表の仕方，発表の聞き方を確認する。	・発表者は聞き取りやすい声量や目配りなど聞き手を意識して発表することを指示する。	発表内容の確認 （知識・技能）
	2	・４人１組のグループを作る。	・聞き手は共感的な姿勢で発表を聞くよう指示する。	
	6	・各グループで個々の考えを順次発表する。		
	2	・すべてのグループの発表終了を確認して，机を元の状態に戻す。	・発表が早く終了したグループに対しては発表を聞いて自分の考えを改めて考えておくように指示する。	
		【展開②】		
	10	・それぞれの発表を聞いたうえで，自分の意見を見直し，再度ワークシートに自分の考えをまとめ直す。	・筆者の考えに対して自分が賛否いずれの立場をとるのか，理由を含めて明確に記述するよう支持する。	ワークシートへの記述の確認 （読む能力②）
	5	・数名の生徒に発表を求める。	・聞き手を意識して発表するよう指示する。	発表内容の確認 （知識・技能）
	4	・筆者の考えに対する賛否を，黒板にカードを貼らせて確認する。		
	4	・この単元の１時間目に取ったアンケート結果と比較し，サイボーグに関する学級全体の捉え方の変化を全員で確認する。		
終末	10	・授業内容とこの単元の総括をする。	・本時の学習を通して自分の考えを深められたかを確認する。	振り返りシートへの記述の確認 （関心･意欲･態度②）
		・次時は古典の授業であることを確認する。 ・挨拶	・評論文の読み方や一つの事柄を異なった視点で捉えることの大切さについて確認する。	